

盛岡発

記念館の補修終了で公開

震災で被害を受けたため閉鎖されていた盛岡市の米内浄水場の敷地内にある水道記念館が、補修工事を終えたことから一般公開を再開することになりました。この施設は1934年に浄水場の運用開始とともに管理人の事務所兼住居として整備されました。昭和初期に流行していた和洋折衷の建築様式を取り入れた国の有形文化財でもあります。公開は11月30日までで、事前の申し込みが必要です。(5/31 ニュースエコー)



陸前高田発

被災松の鍵盤ハーモニカ

陸前高田市に今年2月に開業した済成会陸前高田診療所で、被災した高田松原の松で作られた鍵盤ハーモニカの演奏会が行われました。演奏したのは愛知県在住で鍵盤ハーモニカの第一人者として活躍する吉田絵奈さんです。被災した松の鍵盤ハーモニカは吉田さんから依頼を受けた楽器メーカーの鈴木楽器製作所が去年、3か月かけて手づくりしたものです。「虹の彼方に」など8曲が演奏され集まった人たちは、その柔らかな音色に聞き入っていました。(6/1 ニュースエコー)



演奏したのは愛知県在住で鍵盤ハーモニカの第一人者として活躍する吉田絵奈さんです。被災した松の鍵盤ハーモニカは吉田さんから依頼を受けた楽器メーカーの鈴木楽器製作所が去年、3か月かけて手づくりしたものです。「虹の彼方に」など8曲が演奏され集まった人たちは、その柔らかな音色に聞き入っていました。(6/1 ニュースエコー)

演奏したのは愛知県在住で鍵盤ハーモニカの第一人者として活躍する吉田絵奈さんです。被災した松の鍵盤ハーモニカは吉田さんから依頼を受けた楽器メーカーの鈴木楽器製作所が去年、3か月かけて手づくりしたものです。「虹の彼方に」など8曲が演奏され集まった人たちは、その柔らかな音色に聞き入っていました。(6/1 ニュースエコー)

釜石発

情報交流センターの利用順調

津波で浸水した釜石の中心市街地に賑わいの拠点として一昨年オープンした釜石情報交流センターは昨年度、市の目標の5万人を6千人上回る利用者があったことが分かりました。運営にあたる「釜石まちづくり会社」によりますと、実質的な運営初年度となった昨年度は最新の映像設備が整った多目的ホールが企業のセミナーなどで使われ予算額を6割以上上回る利用料収入がありました。(6/2 ニュースエコー)



大槌発

住宅補助実施へ議会の同意

大槌町で中心部などの住宅建築に100万円を補助する町の事業が予算執行されていないことについて平野町長は「議会の同意があれば来月にも実施したい」との考えを示しました。この事業は予算化の際、町議会から「ほかの場所でも再建する人との不公平感が拭えない」との付帯決議が出されたため町は可決された予算を執行していませんでした。(6/6 ニュースエコー)



陸前高田発

災害公営住宅で花苗植栽

陸前高田市にある災害公営住宅・県営栃ヶ沢アパートの住民が75個のプランターにサルビアやマリーゴールドの苗を丁寧に植えました。咲いた花は全国からの支援に感謝の気持ちを伝え、被災地の今を発信しようという「花のみちプロジェクト」として8月上旬に新宿駅西口から東京都庁までの道路などに飾られ、陸前高田の元気を伝えます。この活動は岩手県と東京都が3年前から共同で行っているものです。(6/6 ニュースエコー)



大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は、大船渡「FMねまらいん」の及川透子さんが「気仙語学習帳」について伝えてくれました。陸前高田市に住む81歳の武蔵さんが独自に制作しました。よそから気仙へ来た人や気仙語をもっと知りたいという人に使ってもらおうと、主に陸前高田地域の方言・言い回しおよそ1200個を集めた綴りとなっています。単語と言い回し、簡単な訳が並んでいて、気仙語を知らない人でも言葉の意味をさっと調べることができるという事です。(6/7)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122